

田代地域

サンピア(田代総合福祉センター)で、調理16班155人、配達19人のボランティアの方々が、週に1回(木曜・昼)約40食のお弁当を作って配達しています。また、田代中学校の生徒が、ボランティアで年2回(夏・冬季の休み中)参加しています。

温かい手作りの弁当を届けたい

お弁当作りは、婦人会や民生委員、町内のボランティア団体に参加して、献立も各班の担当者が作っています。ミズやタケノコなどの旬の山菜や、野菜も新鮮なものを出すようにしてい



代表 佐藤 洋子 さん
(谷地の平東)

ますし、今日作ったミートボールやエビギョーザなど、魚と肉以外はほとんど手作りするように心掛けています。

また、会員で農家のかたは、自分で作った漬物や畑でとれたダイコン、カボチャなどを持ち寄ってくれるんですよ。その分、肉や魚に予算を回して良いものを買えますしね。工夫して作って、おいしかったって言う声を聞くと本当にうれしいですね。

この地域の特徴は、中学生ボランティアが参加してくれることです。一生懸命手伝ってく

福祉弁当ボランティアの会

れるし、とても良い取り組みだと思います。また、盆と正月などは、たしろ児童館の子どもたちが「体を大事にしてください」などの思いを込めて、はし入れを作ってきてくれるんです。

私たちも、ボランティアに加することで料理の勉強にもなるし、年に一回研究会を開くなど意欲を持ってこの活動に取り組んでいます。今後はボランティアの若返りが課題です。うれしい気持ちで食べてもらえよう、これからもおいしいお弁当を届けていきたいですね。

中学生ボランティア

みんなで心を込めて
作りました

今回初めて参加しましたが、ボランティアの会の皆さんに教わりながら食材を切ったり盛りつけたりして、お年寄りたちにおいしく食べて欲しいなと心を込めて作りました。みんなで楽しく出来たし、とても良い経験になりました。

学校では、ボランティア委員会に入っていました。校内の活動だけでなく地区のために少しでも役に立つことが出来たかなと思っています。私はもうす

田代中学校の生徒たち

ぐ卒業しますが、1、2年生には、やってみると楽しいしやりがいがある活動なので、声を掛け合って参加してもらいたいと思います。

これからも、ボランティアに携わる機会があれば、積極的に参加していきたいです。



佐々木 夏実 さん
(3年生・茂屋)



終了後、一緒に調理した「アイリス班」の皆さんと意見交換し、交流を深めました。

はつらつ弁当を利用している皆さんの声



山田 ミチ子 さん
(上岩瀬)

お昼にかけて畑仕事をしていると、ご飯を準備する時間が無いときもあるでしょ。週1回でもこうして持つてきてくれると、とても助かりますよ。配達してくれたかたと世間話をして、ほけ防止にもなるしな(笑)。

今は必要な物は市内に住んでいる娘に頼んで買って来てもらっているのですが以前より買いたい物に出掛けることが少なくなりました。作ってくれてるかたは大変だと思っけど、本当にありがたいです。これからも利用していきたいね。

お正月用の豪華なお弁当はおせち料理みたいでした。



田代児童館の子どもたちが作ったはし入れ

はつらつ弁当を利用したいかたは

社会福祉協議会(大館☎42-8101、比内☎55-2850、田代☎54-3173)または各地区の民生委員までお申し込みください。